



次 世 代 に 向 け て
祈念史料室みゆきに於いて



護

国

御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております
御祭神は四万九千七百二十八柱です。

終戦八十年を迎えて

宮司 額田 照彦

本年は大東亜戦争終結八十年の節目を迎えるに当たり、畏くも天皇陛下より特別の思し召しをもって、幣帛料の御奉納を仰せられたことは、誠に代えがたく、有難き事であります。今、十月十日臨時大祭、秋季慰霊大祭を斎行し、先の大戦において、国の為尊い命を捧げ散華され護國の御霊となられた英霊に、報恩感謝と御霊の安鎮、国家国民の安寧、世界平和を御祈念申し上げます。

先の大戦が終結してから八十年、平和な国であったことを感謝すると共に、これもひとえに祖国日本の為家族を想い、郷土を想い、尊い命を捧げ散華され平和の礎となられた英霊のご遺徳に寄るものであることを決して忘れてはなりません。

御遺族の平均年齢も八十四歳となり、高齢化はより顕著となり、また戦

後生まれが八十八%を超える現状において、次代を担う世代に、国の為また家族を想い散華された、英霊のご遺徳と、先人の苦難の歴史を正しく伝えていくことがより一層困難になる中、靖國神社・護國神社が国家の平和と御霊の安鎮を祈念する唯一の神社であることを改めて認識して頂き、御参拝の機会を頂く事がより大切な事となって来ております。また大東亜戦争終結八十年の節目に際して、英霊を慰霊顕彰することは、日本人の精神的基盤を確立するために欠かせぬ事であり、国民が等しく先人の歩みに感謝の念を抱くことが、我が国が道義に基づくあるべき姿のかたちに復してゆく為の根幹となるものと思っております。

この正しい歴史の認識を後世に伝えるべく、当神社も「終戦七十年記念事業」の一つとして、祈念史料室みゆきを開設致しました。現在県内外から約一万五千名の拝観者を頂いておるところでございます。訪れた人に一人でも多く平和の尊さ、戦争の悲惨さを認識して頂き、拝観後には御霊に尊崇の念を抱いて頂けるような史料室に今後もしてゆきたいと思っております。

当神社におきまして、今年は終戦八十年の節目に際し例年より多くの御参拝を頂き誠に有難き事と思っておりますが、これが一過性のもので終わってはならないと想いを強くしております。

今後とも遺族会をはじめ、友好団体皆様方のご支援・ご協力を賜り、英霊の御心に応えるべく慰霊祭祀の厳修と、遺徳顕彰に力を尽くす所存でございますので、英霊の慰霊顕彰、神社の護持運営に格別のご高配・御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

御挨拶

愛媛県遺族会

会長 関谷 勝嗣



生命に係わる猛暑が続いていますが、皆さんお元気ですか。真剣に各国が環境問題解決に取り組まなければ、これ以上暑さが上昇すれば、もはや人間の対応能力を超えた暑さとなり、地球が壊滅状態に陥ることになってしまいます。国際協力のもと、真剣に取り組まなければなりません。

戦後生まれの方々が、国民の八十八%になりました。遺族の方々が高齢になりました。戦後八十年となり、遺族会を終了する県支部もあります。遺族会の今後の役割は、戦争の愚かさや平和の有り難さを後世に伝えることにあります。ところが今、世界に目を向け

ると、ロシアのウクライナへの進攻に始まり、イスラエルのハマスへの攻撃等々、愚かな戦争が行われています。ハマスでは子供や大人まで餓死者が大勢出ています。子供達が必死の思いで食糧を求めて、鍋を出している姿を見るにつけ、涙を止めることができません。一刻も早く、戦争を終結させなければなりません。

心の幣帛お供えを各県護國神社に御下賜賜り、ご奉納の臨時大祭、秋季慰霊大祭を斎行出来ずことは、代えがたく感謝の念に堪えません。

最も大切に忘れてはならないことは、祖国日本に妻や子や家族を残して異国の地で盾となり戦った戦没者英霊勇士の想いであります。その心情を想うと、特に私ども遺族は、胸が締め付けられる想いです。

今日の豊かな生活と繁栄は、盾となり戦った戦没者英霊勇士のご加護ご遺徳であること、私どもは忘れてはなりません。

扨、終戦より八十年を経て、私ども遺児・遺族は、平均年齢が八十五歳を迎え、その活動の規模や範囲は、年ごとに限定されつつあります。

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 竹内 誠治



ようやく、天高く秋風の爽やかな季節となりましたが、今夏は、短い梅雨のあと、連日記録的な高温、猛暑日が続き、長く暑い終戦

より八十年目の夏となりました。

今夏八月十五日に第八十回目の終戦記念日を迎え、八十年の節目に際し、追悼式典並びに当神社の終戦記念日祭には、例年より多くのご参列ご参拝の状況も見受けられました。特に、多数の尊い命が失われた先の大東亜戦争の終結から八十年を迎え、その節目の日

先人英霊の想いを正しく理解し、その御霊の精神を次の世代、後世に、風化させることなく正しく伝えていくことも、私ども遺児・遺族に課せられた責務であると考えております。益々、若い世代、後世に英霊の想いや御心を正しく伝え継承して行くことの大切さ、責任を痛感しているところであります。

愛媛縣護國神社に隣接する『祈念史料室みゆき』には、戦没者英霊の遺影や貴重な遺品、お手紙等の史料が、数多く展示されております。是非、これらの遺品やお手紙、史料等に触れて頂き、妻や子供、家族、郷土、故郷に対する英霊の想い、真つすぐな御心を感じて頂ければと切に願っております。

世界の人々は、等しく平和な社会と家族の

幸せな生活を願っているはずなのですが、それでもなお、世界に目を向けますと、争いは止まず、人々が苦しみ、日々命を落としている悲惨な現実があります。

私達は、遺族、関係者の皆様と共に、戦争のない世界、恒久平和の実現に向かって、英霊の慰霊顕彰活動と、次世代へのご祭神のご遺徳と感謝の念の継承活動に今後も尽力して参る所存でございます。

終戦八十年を機に、今後とも改めまして、崇敬者の皆様、関係各位の皆様にはより一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この地に眠る英霊に対し、感謝の祈りを捧げ、改めて我が国の恒久なる平和と御霊の安鎮を切に祈念いたします。

日頃の関係皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

祈念
史料室
みゆきだより
(十二)

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
終戦八十年及び事業実施三十五周年
記念洋上慰霊

洋上慰霊に参加して

松山市遺族会
事務局長 山下 明

表題の参加募集の通知が財団法人日本遺族会からあり、さっそく応募したところ、選考基準に基づき参加OKで決定した旨回答があ

りました。出発日の令和七年六月一日神戸港出港に至るまでの経緯をここに発表致します。参加決定通知を頂いた中で、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の主旨が次のとおりでありました。

「本事業は戦没者の遺児が亡き父の眠る戦没地に立ち、慰霊追悼を行うと共に、現地の方々と友好親善を深め恒久平和を願うことを目的とする政府事業で、日本遺族会が委託を受け実施している。参加者は一般の海外観光旅行とは全く性格を異にするものである事を十分理解の上、全国戦没者遺児を代表して亡くなられた全ての戦没者に対して慰霊を行うという極めて意義深い事業であることを認識し、責任ある行動をお願いする」旨の本部事

務局長様からの有難いお言葉でした。団体の名称は「戦没者遺児による慰霊友好親善事業 終戦八十年及び事業実施三十五周年記念洋上慰霊」でありました。

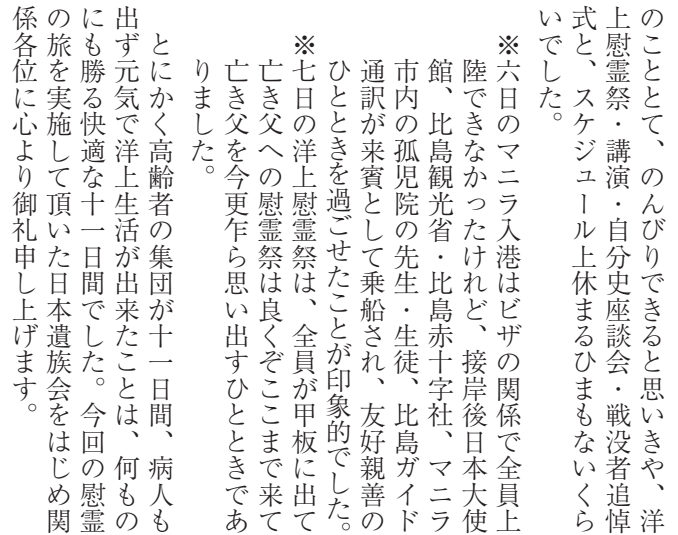
この言葉を胸に、令和七年六月一日自宅出発、JR松山駅→岡山駅新幹線で新神戸駅→バスで神戸港（中突堤）停泊中の旅客ターミナルに到着。北は青森から南は鹿児島島の遺児が集い、出国審査後日本丸に乗船、船内で決断式及び事業説明等を終え、十八時過ぎ神戸港から一路比島に向け出港しました。

六月一日から六月十一日神戸入港までの日程は別表を参照ください。又「日本遺族通信」にも詳細が掲載されており、出発してから洋上



洋上慰霊日程

月日	発着地等	スケジュール
6月1日 (日)	神戸(日本)	午後 受付後、船内へ 結団式及び渡航手続き説明会 17時頃出航予定
6月2日 (月)	終日航海	午前 戦争の概要説明 (PP) ①午後 九州沖洋上慰霊祭
6月3日 (火)	終日航海	②午前 東シナ海洋上慰霊祭 午後 講演① 自分史座談会①
6月4日 (水)	終日航海	午前 映画視聴① 自分史座談会② ③午後 台湾海峡洋上慰霊
6月5日 (木)	終日航海	④午前 台湾・バシー海峡洋上慰霊祭 ⑤午後 ルソン島西方沖洋上慰霊祭
6月6日 (金)	午前 マニラ 入 午後 マニラ 出	午前 マニラ入港：9時頃 全戦没者追悼式10時30分～ 懇談会：友好親善（船内にて）
6月7日 (土)	終日航海	⑥午前 シブヤン海洋上慰霊祭 ⑦午後 レイテ島東方沖洋上慰霊祭
6月8日 (日)	終日航海	⑧午前 講演① 水落会長 ⑧午後 太平洋沖洋上慰霊祭
6月9日 (月)	終日航海	⑨午前 講話② 自分史発表① ⑨午後 南薩諸島沖洋上慰霊
6月10日 (火)	終日航海	⑩午前 映画視聴② 自分史発表② ⑩午後 入国説明会、講演② 水落会長 夕刻 解団式
6月11日 (水)	神戸(日本)	9時頃入港 下船



岡本靖会長以下有志一同

万葉苑だより(十四)

戦後八十年を経て

愛媛万葉苑保存会

相談役 藤原 茂



終戦当時私は北支派遣第一六四九部隊（保定予備士官学校）に所属し、万里長城八達嶺で激しい防御戦闘を続けており、対ソ戦車部隊と八路军に対峙していた。

突然の終戦の詔書聞き、終戦後の対応も判らないまま、完全武装で当面の敵と対峙していた。この頃、駐蒙軍司令官根本中將は在留邦人を保護するため、敢えて岡村支那派遣軍司令官の命令に反して戦っていた。勿論我々も自分たちの運命も不明のまま過ごしていた。このような状況の中で、敗戦後の祖国はどうなるのか全く判断できなかった。そこで、信頼していた高木中隊長に伺ってみた。

この中隊長は陸大進学予定者とか言われ信望の高い隊長であった。戦術の授業の時、最悪の状況を示し、「この時指揮官の処置如何」と問われ、我々候補生は色々表現を変えながら、「天皇陛下万歳を叫びながら最後の突撃を敢行します」と答えていた。ところが隊長の示した原案（正解）は「その時指揮官はおもむろに、物入（ポケット）からチェスターフィールド（高級タバコ）を出してスパリスパ

リと吸う」であった。我々はあつけに取られながら、「まずは冷静に落ち着くこと」とだと教えられ、以後難局に出会う度に援けられた言葉である。また、八達嶺へ出動の時も夜中の非常呼集で「靴は正規の軍靴で、持てるだけの兵器を持参せよ」との命令で我々は軍靴を指定されたので、熱砂の地方への出動がとかなり緊張していた。その時隊長は部屋で悠々と煙草を吸っており、我々は落ち着いたこともあり、候補生の信頼的であった。

終戦という突然の環境に戸惑っていた我々は、わが身のことは覚悟の上で、戦後の祖国はどうなるのか心配して隊長に尋ねた。しかし流石の隊長も敗戦後の祖国の事など考えてもいなかったのか、突然軍歌を歌い始めた。明治初期ドイツ駐在武官であった福島少佐が帰国のためベルリンからウラジオストクまで一年半をかけて単騎でユーラシア大陸を横断したとき作った「ポーランド回顧」であった。

(1)、一日二日は晴れたれど／三日四日五日は雨に風／路の悪しきに乗る駒も／踏み煩いの野路山路 (2)、雪こそ降らね冴えかえる／嵐やいかに寒からん／氷張りたるその朝／置く霜白しその夕 (3)、ドイツの国を行き過ぎて／ロシアの境に入りたれば／寒さいよいよ勝りきて／降らぬ日もなし雨あられ (4)、淋しき里に入りたれば／ここは何処と尋ねしに／聞くも哀れやその昔／亡ぼされたるポーランド (5)、かしこに見ゆる城の跡／ここに残れる石の垣／照らす夕

日に色映えて／飛ぶも淋し鷓鴣の影 (6)、栄枯盛衰世の習い／その理は知らねども／ここまで荒れるものぞとは／誰かは知らん夢にだも (7)、存亡興廢世の習い／その理を疑わん／人一度は来ても見よ／哀れ果敢なきこのところ (8)、咲きて榮えし古の／色や香りは今いずこ／花の都のその春も／まこと一時の夢にして

と、その昔帝政ロシアに滅ばされたポーランドの哀れな状況を歌われた。この後ポツリと「時には国語が無くなるかも」と呟かれた。

最近新聞やテレビでもやたらにカタカナ語やその略語が増えて、戦後買っていた「外来語辞典」も間に合わなくなり、つくづくあの一言が気になることが多くなった。小学校でも三年生から英語を教えており、親戚の子供も幼稚園から英語の塾に通っている。塾で遊んでいる時も日本語禁止だそう。こうして多様性と逆行する英語の圧力、隣国で繰り広げられると言う少数民族語への圧力など、日本語も危機ではないかと思われる事態だ。聞くところによると、英語を社内公用語にしている企業も増えているという。

そう言えば最近「国を滅ぼすには戦車は要らぬ、暫く国語の使用を禁止すればよい」という言葉のある事を知った。こうして日本語が無くなった日本人はどうなるのか。連綿と続いてきた日本文化はどうなるのか悩ましい時代を迎えることになってきた。

思えば明治維新のころ、西洋文化の洪水に伴って、その膨大な言葉の翻訳を進めた。そ

の結果日本語の語彙は爆発的に増加した。電車・汽車・衣類から軍隊用語まで翻訳し素晴らしい日本語が創られてきた。一説によると日本は四十年毎に大変革するとか。明治維新後四十年で日露戦争に勝利し、その後四十年で敗戦。その後軍隊で鍛えられた復員兵が荒れ果てた祖国の復興に必死で努め、世界に誇る日本を作り上げた。それも四十年後の昭和六十年頃絶頂を迎えた後失速し、今やかつての日本は何処にありやの状態らしい。スイスの国際経営開発研究所の世界競争力ランキング調査で二〇二四年は世界で三十六位だそうだが(一九九〇年代には三年連続で一位だった)。また一人の女性が生涯に産む子供の数は一・三人。世界で一九七番目に少ないそうだ。反対に高齢者率は最高であるという。

気になることはこれだけではない。「もしも戦争が起きたら国のために戦うか」と若い人に聞いたら「はい」と答えた者は十三%で世界最低だったそうだ。戦後八十年は何だったのか。参院選挙の結果も嘆かわしい結果だったが、今や私など余生少なくなった年寄りには、祖国の安寧など縁なきことであろうか。最近「少子化」の文字が多いが、私は「少土化」を心配している。政財界にも何処にもいわゆる「土(さむらい)」がいなくなった。日本語も無くなった祖国のことを案じながら、終戦当時の高木中隊長の最後の一言「国語が無くなるかも」が無暗に気になるこの頃である。

奉納

令和七年六月四日御奉納
厚く御礼申し上げます。

戦後八十年に寄せて

株式会社アメニティシステム

監査役 安部 宣久

年々暑さが厳しさを増し、猛暑日という言葉がごく普通に使われている今日この頃、今年も八十回目の八月十五日を迎えた。

私は戦後生まれの為、戦争そのものは体験していないが、幼少期当時、松山市随一の繁華街である銀天街の路上を、兵隊さんの格好をした男性が悲しい軍歌をかけ這いながらお金を空き缶の中に入れてもらう何とも言えない情景を記憶している。確か手足の一部が無かったこともぼんやりと覚えている。幼心に戦争というものは悲惨なところがあるものだとなが痛んだ。

そして戦後八十年。私は今年が八十年になることを年初には意識していなかった。以前零戦のプロペラが雨風にさらされないように「東屋」を奉献したが、その東隣にある特攻隊員のモニュメントに今年は「東屋」を寄進しようかなと思う程度であった。しかしこれは以前から大変気になっていたので、早速大工他職人仲間を集め、この春完成し奉獻することができた。これで

特攻隊員の皆様の御霊も少しはお慰めできると安堵した。

私は思う。戦争という国家の非常時に一国民として、家族、地域、国家を思い大空に散華された皆様。この国は今、混沌する世界の中でいろいろな意味で揺れております。私達は不戦の誓いを胸に平和な国づくりに励んでまいります。身勝手なお願ひとは存じますが、どうか空の上より子々孫々までお見守り下さい。そして安らかに眠り下さい。



正式参拝

令和七年

四月十四日

松山市遺族会女性部総会

部長 清家 征子様

計十五名

四月二十七日

勝山仁桜相撲クラブ

代表 岡本 直丈様

計十六名

五月二十三日

愛媛県遺族会理事會

会長 関谷 勝嗣様

計二十名

五月二十七日

晴朗会

代表 安永 教一様

元愛媛県議會議長

参列者代表 横田 弘之様

計十五名

六月二十日

愛媛県遺族会評議員會

会長 関谷 勝嗣様

計二十八名

六月二十六日

松山市遺族会役員會

会長 宮内 剛様

計十八名

七月十一日

英霊に應える会愛媛県本部総会

会長 佐伯 要様

顧問 横田 弘之様

計三十名

七月十四日

ベッセルホテルズレフ松山市駅

リーダー 村上 竜治様

計三名

七月十八日

愛媛県遺族会女性部青年部

合同研修會

会長 関谷 勝嗣様

計十五名

七月二十六日

まほろばの會

代表 山崎 文靖様

計二十二名

七月二十七日

ひの心を注ぐ會

会長 三浦 夏南様

計五名

八月八日

愛媛県瓦工事業組合（屋根の日）

理事長 菊池陽一郎様

松山市議會議員

田坂 信一様

計十七名

八月十五日

伊豫豆比古命神社

宮司 長曾我部昭一郎様

名誉宮司 長曾我部延昭様

総代会会長 玉乃井聖憲様

計二十二名

八月十五日

西条市遺族會

会長代行 和田 正壽様

東予地区会長 二神 建訓様

西条地区会長 三宅 博文様

丹原地区会長 徳永 良治様

計八十名

八月十七日

鉾石武一郎様

計二名

九月八日

大分縣護國神社

宮司 八坂 秀史様

大分県遺族會連合會

会長 末光 秀夫様

計十名



九月十日

英霊に應える會

中央本部 中国・四國ブロック會議

会長 古庄 幸一様

愛媛県本部

会長 佐伯 要様

愛媛県遺族會

会長 関谷 勝嗣様

計二十名

九月十五日

祖國と青年の會 研修會

講師 外村 聖典様

計十五名

九月十九日

愛媛県神社庁松山支部城東分會

分會長 玉井 秀行様

計十名

九月二十一日

第9回

和プロジェクトTAISHI

揮毫奉納

松山北高等学校書道部

部長 三瀬 彩乃様

計四十五名



九月二十五日

松山市遺族會役員會

会長 宮内 剛様

計二十五名

愛媛縣護國神社英靈顕彰会 入会と継続のご案内

平成26年11月の設立以来、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。
今後も英靈のご遺徳を顕彰し後世に伝えてゆくために、愛媛縣護國
神社英靈顕彰会へのご入会と継続のご協力をお願い申し上げます。
お問い合わせは、下記迄お願い致します。

愛媛縣護國神社 英靈顕彰会事務局 TEL (089) 925-2353

英靈顕彰会会員の特典

各特典	正会員	賛助会員	特別会員	備考
会費(年額)	3,000円以上	10,000円以上	100,000円以上	
会員対象	個人	個人・団体	個人・団体	
神札	御守	紙札	木札(小)	年1回発送
社報	年2回発送	年2回発送	年2回発送	
春秋大祭案内	×	×	○	一般来賓案内
顕彰石彫	×	×	○	

御祈祷(お祓い)の
御案内

当社では各種祈願を随時お
受けしております。
時間等は社務所へお問い合
わせ下さい。

初宮詣
七五三詣
厄除け
交通安全
家内安全
合格祈願
社運隆昌
新年特別祈
その他